

## 学則の変更の趣旨等を記載した書類

### 1 学則変更（収容定員変更）の内容

平成31年度を期限とする10名の入学定員について、令和3年度までの期限を付した再度の入学定員増を行い、令和2年度の入学定員を再度の定員増を行わなかった場合の90名から100名に変更する。

これにあわせて、収容定員についても令和3年度までの期限を付した臨時の入学定員増を踏まえ、再度の定員増を行わなかった場合の590名から610名に変更する。

### 2 学則変更（収容定員変更）の必要性

地域医療を担う医師不足という深刻な状況から、平成21年度に「緊急医師確保対策」に基づき平成29年度までの期限を付した5名の臨時定員増を、また「経済財政改革の基本方針2008」に基づき5名の恒久定員増をそれぞれ実施した。

さらに、平成22年度に「経済財政改革の基本方針2009」に基づき平成31年度までの期限を付した5名の臨時定員増を実施した。また、平成29年度には時限を迎えた「緊急医師確保対策」に基づく臨時定員5名を平成31年度まで2年間延長した。

今回の平成31年度を期限とする10名の入学定員については、依然として医師不足が続いており、大分県からも医師偏在の非常事態に直面しているへき地医療に対する医師の育成について強い要望があるため、今後も継続して取り組む。

なお、再度の定員増を行う10名については、これまでどおりAO入試の地域枠入学者とする。

### 3 学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程等の変更内容

教育課程の変更は行わないが、地域医療（へき地を含む）に携わる医療人の育成をめざし、以下の地域医療教育をカリキュラムに組み込み充実させている。

- 1) 1年次の入学直後の「早期体験実習（3日間）」では、地域の障害者支援施設で介護実習を行い、実際の医療現場を体験することにより、医学部学生としての意識付けを確たるものとしている
- 2) 3年次の「地域医療実習・講義（2週間）」では、地域医療の現状と課題に関する講義に加えて、県内55箇所の診療所（へき地診療所を含む）での体験実習を行うことにより、プライマリ・ケアの重要性を学んでいる
- 3) 4年次の「研究室配属（3ヶ月）」では、医学部の講座・研究室あるいは学外（国内・海外）研究施設で8週間の研究を行っている。この際、地域枠を含めて地域医療に興味のある学生は総合診療・総合内科学講座、総合外科・地域連携学講座に配属され、地域をフィールドとした臨床研究を行い、リサーチマインドを涵養している

- 4) 5年次の「地域医療実習（2週間）」では、大分県内15箇所のへき地医療拠点病院で泊まり込みの実習を行い、地域包括ケアの現場を体験しつつ、高齢者医療・多職種連携・在宅医療・医療コミュニケーションなど地域医療に必須の知識・技能・態度を学んでいる
- 5) 5年次の「総合診療科実習（2週間）」では、地域の家庭医や病院総合診療医の協力を得て、外来診療・在宅医療・救急を含めた体験型臨床実習を行い、総合的臨床能力の重要性を学んでいる
- 6) 6年次の「選択型臨床実習（4週間）」で総合診療・総合内科学講座、総合外科・地域連携学講座を選択した学生は、離島・中山間部の医療機関を含めた地域医療の現場で参加型臨床実習を行い、地域医療の必要性とその役割を学んでいる

なお、今回の収容定員変更により増員の対象となるAO入試の地域枠で入学した学生は、上記のカリキュラムに加え、夏季の地域医療研修会、秋季の地域医療セミナー、および冬季の“へき地医療中核病院”の医師による講演会・交流会に参加する。本学地域医療学センターの教員によるキャリア支援とともに、地域枠の卒業生と在校生による“大分の地域医療の明日を拓く会”による屋根瓦式の支援体制が構築されており、早期から段階的に地域医療を体験し、使命感や知識・技術・態度の習得を図ることができている。令和2年度以降もこのカリキュラムを継続し、優秀な卒業生を輩出して地域医療の発展に寄与していく。

令和2年度  
医学部入学定員増員計画

分大総企第11号  
令和元年9月10日

文部科学省高等教育局長 殿

国立大学法人大分大学長  
北野正剛



「地域の医師確保等の観点からの令和2年度医学部入学定員の増加について（令和元年9月2日文部科学省高等教育局長・厚生労働省医政局長通知）」を受けて、標記に関する資料を提出します。

<連絡先>

責任者連絡先	職名・氏名	医学・病院事務部学務課長 森田則之
	TEL	097-586-5502
	FAX	097-586-5519
	E-mail	gakumukt@oita-u.ac.jp

大学名	国公立
大分大学	国立

1. 現在(令和元年度)の入学定員(編入学定員)及び収容定員

入学定員	2年次編入学定員	3年次編入学定員	収容定員
100	10	0	650

↑  
(収容定員計算用)

	H26	H27	H28	H29	H30	R1	計
(ア)入学定員	100	100	100	100	100	100	600
(イ)2年次編入学定員	10	10	10	10	10	0	50
(ウ)3年次編入学定員	0	0	0	0	0	0	0
計	110	110	110	110	110	100	650

2. 本増員計画による入学定員増を行わない場合の令和2年度の入学定員(編入学定員)及び収容定員

入学定員	2年次編入学定員	3年次編入学定員	収容定員
90	10	0	590

↑  
(収容定員計算用)

	R2	R3	R4	R5	R6	R7	計
(ア)入学定員	90	90	90	90	90	90	540
(イ)2年次編入学定員	10	10	10	10	10	0	50
(ウ)3年次編入学定員	0	0	0	0	0	0	0
計	100	100	100	100	100	90	590
(臨時的な措置で減員した場合、その人数)	0	0	0	0	0	0	

3. 令和2年度の増員計画

入学定員	2年次編入学定員	3年次編入学定員	収容定員
100	10	0	610

↑  
(収容定員計算用)

	R2	R3	R4	R5	R6	R7	計
(ア)入学定員	100	100	90	90	90	90	560
(イ)2年次編入学定員	10	10	10	10	10	0	50
(ウ)3年次編入学定員	0	0	0	0	0	0	0
計	110	110	100	100	100	90	610
(臨時的な措置で減員した場合、その人数)	0	0	0	0	0	0	

増員希望人数 **10**

↑  
(内訳)

(1) 地域の医師確保のための入学定員／編入学定員増(地域枠)	10
(2) 研究医養成のための入学定員／編入学定員増(研究医枠)	0
(3) 歯学部入学定員の削減を行う大学の特例に伴う入学定員／編入学定員増(歯学部振替枠)	0
計	10

# 1. 地域の医師確保のための入学定員増について

増員希望人数 10

## (1) 対象都道府県名及び増員希望人数

都道府県名	増員希望人数
大学が所在する都道府県 大分県	10
大学所在地以外の都道府県	
計	10

※「大学所在地以外の都道府県」から都道府県未満の場合は、残りの欄は空欄でご提出ください。

## (2) 修学資金の貸与を受けた地域枠学生の確保状況

都道府県名	H30地域枠定員 (※1)	H30貸与者数 (※2)	R1地域枠定員 (※1)	R1貸与者数 (※2)	H30とR1の貸与 者数のうち多い 方の数
大分県	10	13	10	13	13
					0
					0
					0
計	10	13	10	13	13

(※1) 臨時定員分のみご記入ください。

(※2) 恒久定員の中で地域枠を実施している場合、恒久定員分の地域枠の人数も含めた修学資金の貸与実績をご記入ください。

※6都道府県未満の場合は、残りの欄は空欄でご提出ください。

(3) 令和2年度地域の医師確保のための入学定員増について

1. 大学が講ずる措置  
1-1. 地域枠学生の選抜

①令和元年度に実施した地域枠学生の選抜について、下記をご記入ください。複数種類の選抜を行った場合には、それぞれご記入ください。また、参考として学生募集要項の写しをご提出ください。

名称	入試区分	選抜方式	募集人数	うち臨時定員分	選抜方法(※1)	出願要件(※1)	開始年度	備考
AO入試	(ii) AO入試	別枠(区別型)	13	10	<p>選抜方法等</p> <p>(1)選抜方法 【第1次選考】 一般枠、地域枠ともに、大学入試センター試験の成績により第1次選考(一般枠、地域枠とも募集人員の約2.5倍)を行い、第2次選考の対象者を決定します。</p> <p>【第2次選考】 一般枠、地域枠ともに、面接(個人面接及び集団面接)を行い、自己推薦書、調査書、特別活動に関する調査書(2名、専攻ある場合は医学研究者として活躍しようとする、明確な目的意識を持ち、熱める人々への思いやりと共感、生涯学習への意志と体力を持った者)を決定します。</p> <p>なお、同点者がいる場合は、大学入試センター試験の総得点の高得点者、大学入試センター試験の理科の高得点者の順に高順位とします。</p>	<p>出願資格※一般枠と地域枠との併願は認められません。</p> <p>【一般枠】 高等学校、中等教育学校、特別支援学校の高等部及び日本の高等学校と同等の課程を有するとして文部科学大臣が認定している在外教育施設等を平成29年3月以降に卒業した者及び平成31年3月卒業見込みの者(外国の高等学校に留学のため、平成30年4月1日以降卒業の途中において卒業と認められた者を含みます。)で、大学入試センター試験の実施教科・科目のうち、本学が指定した教科・科目を受験し、かつ、次の要件を満たす者です。</p> <p>1. 高等学校等における学習成績が優秀で、調査書の学習成績欄がA段階に属する者</p> <p>2. 大学入試センター試験の成績が、調査書に(ア)と表示してください。</p> <p>3. 専攻分野に(イ)と表示してください。</p> <p>【地域枠】 上記出願資格に加え、次の要件を満たす者です。</p> <p>・大分県内の小学校又は中学校を卒業し、大学卒業後、大分県の地域医療に貢献したいという強い意志を有する者で、大分県が指定するべき医療機関病院内で実施する体験活動(6月中)の連続する3日前実施を受けた者</p> <p>※平成28年8月又は平成29年8月に本体験活動を受け、「体験活動日報」及び「体験活動感想文」を提出済の者については、本体験活動を再度受ける必要はありません。</p> <p>※本体験活動は、地域枠で出願するためにも実施するものです。</p>	H21以前	
合計			13	10				

(※1)貴大学の学生募集要項の事項をそのままご記入ください。  
※空欄がある場合は、何も記入せずにご提出ください。

②令和2年度に実施する地域枠学生の選抜について、下記をご記入ください。複数種類の選抜を行っている場合には、それぞれご記入ください。また、参考として学生募集要項の写しをご提出ください。

名称	入試区分	選抜方式	募集人数	うち臨時定員分	選抜方法(※1)	出願要件(※1)	開始年度	備考
AO入試	(ii) AO入試	別枠(区別型)	13	10	<p>選抜方法等</p> <p>(1)選抜方法 【第1次選考】 一般枠、地域枠ともに、大学入試センター試験の成績により第1次選考(一般枠、地域枠とも募集人員の約2.5倍)を行い、第2次選考の対象者を決定します。</p> <p>【第2次選考】 一般枠、地域枠ともに、面接(個人面接及びグループディスカッション)を行い、自己推薦書、調査書、特別活動に関する調査書及び大学入試センター試験の成績を総合的に評価し、合格者を決定します。</p> <p>なお、同点者がいる場合は、大学入試センター試験の総得点の高得点者、大学入試センター試験の理科の高得点者の順に高順位とします。</p>	<p>出願資格 ※一般枠と地域枠との併願は認められません。</p> <p>【一般枠】 高等学校、中等教育学校、特別支援学校の高等部及び日本の高等学校と同等の課程を有するとして文部科学大臣が認定している在外教育施設等を平成30年(2018年)3月以降に卒業した者及び令和2年(2020年)3月卒業見込みの者(外国の高等学校に留学のため、平成31年(2019年)4月1日以降卒業の途中において卒業と認められた者を含みます。)で、大学入試センター試験の実施教科・科目のうち本学が指定した教科・科目を受験し、かつ、次の要件を満たす者です。</p> <p>1. 高等学校等における学習成績が優秀で、調査書の学習成績欄がA段階に属する者</p> <p>2. 大学入試センター試験の成績が、調査書に(ア)と表示してください。</p> <p>3. 専攻分野に(イ)と表示してください。</p> <p>【地域枠】 上記出願資格に加え、次の要件を満たす者です。</p> <p>・大分県内の小学校又は中学校を卒業し、大学卒業後、大分県の地域医療に貢献したいという強い意志を有する者で、大分県が指定するべき医療機関病院内で実施する体験活動(6月中)の連続する3日前実施を受けた者</p> <p>※平成29年(2017年)8月又は平成30年(2018年)8月に本体験活動を受け、「体験活動日報」及び「体験活動感想文」を提出済の者については、本体験活動を再度受ける必要はありません。</p> <p>※本体験活動は、地域枠で出願するためにも実施するものです。</p>	H21以前	
合計			13	10				

(※1)貴大学にて作成予定の学生募集要項の事項をそのままご記入ください。  
※空欄がある場合は、何も記入せずにご提出ください。

## 1-2. 教育内容

①地域枠学生が卒業後に勤務することが見込まれる都道府県での地域医療実習など、地域医療を担う医師養成の観点からの教育内容の概要(令和2年度)について、5～6行程度で簡潔にご記入ください。

1年次の「早期体験実習」では県内医療機関にて介護福祉に関する体験実習を行い、3年次の「地域医療実習」では県内55箇所の診療所(へき地診療所を含む)でプライマリ・ケアの体験実習を行っている。4年次の研究室配属では地域をフィールドとした研究を実施し(例年5名程度)、5年次の「滞在型地域医療実習」では大分県内15箇所のへき地医療拠点病院で2週間泊まり込みでの実習を行っている。

(参考:記入例)

1～2年次には、「○○」という科目を開講するとともに「△△」を必修化し、～～を学んでいる。3～4年次には、××実習を行い、～～を学んでいる。またキャリア支援として□□を実施している。令和2年度からは、■を新たに開始するなど、～～を図ることとしている。

②(過去に地域枠を設定したことがある場合)これまでの取組・実績を、3～5行程度で簡潔にご記入ください。

(参考:記入例)

平成19年度から入学定員内に地域枠(学生:3名)を導入し、平成21年からは地域枠による増員(平成21年5名:平成22年以降10名)を開始し、現在、計13名が地域枠としており。令和元年度までに地域枠学生143名を確保し、そのうち57名が医師として大分県内で勤務し、17名がへき地医療拠点病院に赴任し、地域医療に貢献している。

③上記①の教育内容(正規科目)について、講義・実習科目内容をご記入ください。また、参考としてシラバスの写しをご提出ください。

対象学年	講義・実習名	対象者 (※1)	必修/選択の別		講義/実習の 単 位 数	開始年度
			地域枠学生	その他の学生		
1年次生	早期体験実習	全員	必修	必修	1	H21以前
3年次生	総合診療科・総合外科	全員	必修	必修	2	H24
3年次生	総合診療科・総合外科 科の地域医療実習	全員	必修	必修	2	H24
4年次生	研究室配属	全員	選択必修	選択必修	3	H21以前
5年次生	臨床実習(Stage1) の地域医療実習	全員	必修	必修	4	H23
5年次生	臨床実習(Stage1) の総合診療・総合内 科実習	全員	必修	必修	4	H28
6年次生	臨床実習(Stage2)の 総合内科・総合診療 科実習	全員	選択必修	選択必修	4	H24
6年次生	臨床実習(Stage2)の 総合外科・地域連携 学	全員	選択必修	選択必修	4	H30

(※1)対象者は、当該講義・実習を受講可能な学生を「地域枠学生」「全員」のうちから選択ください。(地域枠学生の希望者のみの場合には、対象者を「地域枠学生」、必修/選択の別を「選択」とご記載ください。)  
※空欄がある場合は、何も記入せずそのままにご提出ください。

④大学の正規科目以外で、提供する地域医療教育プログラムがあれば、その内容をご記入ください。

対象学年	プログラム名	対象者 (※1)	都道府県との連携	期間 (例：〇週間)	プログラムの概要(1～2行程度)	開始年度
1年次生～5年次生	大分県地域医療研修会	地域枠学生	大分県医療政策課、大分県地域医療支援センターとの連携	3日間	夏休み期間に大分県内のへき地医療拠点病院かへき地診療所で2泊3日の研修を自治医科大学生と一緒にを行う	H21以前
1年次生～6年次生	大分の地域医療の明日を拓く会	地域枠学生	大分県医療政策課、大分県地域医療支援センターとの連携	1日間	へき地医療拠点病院長と地域枠卒業医学生との講演、および地域枠卒業医師を囲む懇談会により情報共有を行う	H25
1年次生～6年次生	地域医療セミナー in 大分	全員	大分県地域医療支援センターとの連携	2日間	県内のへき地医療拠点病院とその地域で医療・介護実習、住民との触れ合いをとおして地域医療の魅力を伝えている	H24

(※1)対象者は、当該講義・実習を受講可能な学生を「地域枠学生」「全員」のうちから選択ください。  
※空欄がある場合は、何も記入せずにご提出ください。

⑤上記③④以外に、地域医療を担う医師の養成に関する取組等があれば、簡潔にご記入ください。(令和元年度以前から継続する取組を含む)(1～2行程度)

取組の名称	取組の概要(1～2行程度)	開始年度
大分県臨床研修医合同研修会	県医師会、県地域医療支援センターと大分大学地域医療学センター主催で、講演会と情報交換会を行い、地域医療の啓発を行っている	H27

※空欄がある場合は、何も記入せずにご提出ください。



## 2. 都道府県等との連携

① 都道府県が設定する奨学金について、以下をご記入ください。併せて、都道府県が厚生労働省に提出する予定の地域の医師確保等に関する計画及び「地域における医療及び介護の総合的な確保の促進に関する法律」(平成元年法律第64号)第4条に規定する都道府県計画等に位置づけることを約束する文書を添付して下さい。なお、複数の奨学金を設定している場合は、それぞれ記入ください。

奨学金の設定主体	貸与人数	貸与対象	貸与額 (例: 200,000)		返免除要件	選抜方法		診療科の限定の有無	診療科の限定がある場合(その診療科名)	備考
			月額	総貸与額		選抜時期	大学の関与の有無(※1)			
大分県	13	新入生	50,000	7,096,800	勤務する県内の病院又は診療所 大学卒業後、医師免許を受けた 後、貸与を受けた2分の3の期間 (通常9年間)を次の①～③の区分 毎に各指定医療機関で勤務しま す。 ① 初期臨床研修(卒業後2年間): 大分大学医学部附属病院 ② 後期研修(卒業後3～9年目の うち3年間):大分大学医学部附属 病院等 ③ 地域勤務(卒業後3～9年目の うち4年間):県の指定するへき地 医療拠点病院等 ※ 指定医療機関…大分大学医学 部附属病院、へき地医療拠点病 院、へき地診療所のうち、県が指 定するもの	① 大学における選 抜前に都道府県に おいて面接等を実 施	×	×		

(※1)〇の場合は、備考欄に詳細をご記入ください。

※空欄がある場合は、何も記入せずにそのまま提出ください。

② その他、都道府県と連携した取組があれば、簡潔にご記入ください。(例: 在学中の学生に対する都道府県と連携した相談・指導、卒後のキャリアパス形成等に対する支援)(1～2行程度)

取組の名称	取組の概要(1～2行程度)	開始年度
地域枠学生との面談	卒業後の心配を解くために、地域医療学センタースタッフがメン ター的に面接を行い、義務機関の勤務、キャリア形成支援などを 説明(県と共有)	H21以前
臨床研修医、地域枠医師との面談	キャリア形成と地域勤務との両立を図るための相談や指導を県医 療政策課と合同で行っている	H26

※空欄がある場合は、何も記入せずにそのまま提出ください。

## 3. その他

1～2に記入したものを以外で、その他、地域の医師確保の観点から大学の今後の取組があれば、簡潔にご記入ください。(1～3行程度)  
特に、都道府県からの奨学金の貸与を受ける者、地域枠入学者を確保するために貴大学で取り組まれていることや今後の取組み予定がございましたら、ご記入ください。

① 高大連携「地域医療 魅力発見セミナー(平成23年より)」: 県内の高校2年生を  
対象に講演・グループディスカッション・体験学習を行っている。  
② 「内科医療人材育成会議」: 自治体と連携して、地域枠医師を指導医とともに地  
域病院に派遣する仕組み(平成30年より)。

**平成31年度  
アドミッション・オフィス入試（AO入試）  
学生募集要項（抜粋）**

## 1. 募集人員

医学部医学科 35名（一般枠22名，地域枠13名）

## 2. 出願資格 ※一般枠と地域枠との併願は認められません。

### 【地域枠】

上記出願資格に加え，次の要件を満たす者です。

- ・大分県内の小学校又は中学校を卒業し，大学卒業後，大分県の地域医療に貢献したいという強い意志を有する者で，大分県が指定するべき地医療拠点病院で実施する体験活動（8月中の連続する3日間実施）を受けた者

**※平成28年8月又は平成29年8月に本体験活動を受け，「体験活動日誌」及び「体験活動感想文」を提出済の者については，本体験活動を再度受ける必要はありません。**

**※本体験活動は，地域枠で出願するためにのみ実施するものです。**

## 9. 選抜方法等

### （1）選抜方法

#### 【第1次選考】

一般枠，地域枠ともに，大学入試センター試験の成績により第1次選考（一般枠，地域枠ともに募集人員の約2.5倍）を行い，第2次選考の対象者を決定します。

※ 第1次選考の結果については，通知書を平成31年2月7日（木）に受験者全員へ電子郵便で通知します。当日の18時までに未着の場合は，最寄りの集配郵便局にお問い合わせください。

また，当日10時に大分大学ホームページ（<http://www.oita-u.ac.jp/>）においても公表します。

なお，第1次選考合格者は，第2次選考試験当日に，必ず「大分大学受験票」と「大学入試センター試験受験票」の2種類を忘れずに持参してください。

#### 【第2次選考】

一般枠，地域枠ともに，面接（個人面接及び集団面接）を行い，自己推薦書，調査書，特別活動に関する調査書及び大学入試センター試験の成績を総合的に評価し，合格者を決定します。

なお，同点者がいる場合は，大学入試センター試験の総得点の高得点者，大学入試センター試験の理科の高得点者の順に高順位とします。

### （3）第2次選考試験期日

試験期日	試験時間	試験科目
平成31年2月10日（日）	午前の部：9時00分～	面接（個人面接・集団面接）
	午後の部：13時00分～	

## (6) 地域枠について

地域枠志願者は、次の①～③について承諾した上で、出願前に大分県が指定するへき地医療拠点病院で実施する体験活動（8月中の連続する3日間）を受けていただきます。

※詳細は18ページ『平成31年度大分大学医学部医学科アドミッション・オフィス入試(AO入試)へき地医療拠点病院体験活動実施要項』に記載しています。

### ① 大分県医師修学資金貸与制度

大分大学医学部にAO入試（地域枠）で入学した学生全員に、大分県医師修学資金が貸与されます。

#### (ア) 貸与額

貸与額は、本学の入学料及び授業料に相当する額と修学支援金月額5万円です。

※貸与額は、入学料・授業料改定によって変更することがあります。

#### (イ) 返還の免除

大学卒業後、大分県知事の指定する医療機関において、貸与を受けた期間の2分の3に相当する期間を医師として勤務した場合、全額返還を免除します。

※詳細は大分県作成の「平成31年度大分県医師修学資金貸与制度のしおり(アドミッション・オフィス入試の地域枠入学生向け)」で確認してください。

#### 《問い合わせ先》

大分県福祉保健部医療政策課地域医療推進班  
〒870-8501 大分市大手町3丁目1番1号  
TEL 097-506-2658 FAX 097-506-1734

### ② 地域医療研修会

地域枠入学者は、大分県が毎年実施する「地域医療研修会」に参加していただきます。

### ③ その他

地域枠入学者は、入学後に一般枠への変更はできません。

**令和2年度（2020年度）  
アドミッション・オフィス入試（AO入試）  
学生募集要項（抜粋）**

## 1. 募集人員

医学部医学科 25名（一般枠 22名，地域枠 3名）

地域枠定員については，文部科学省等に申請を行う予定であり，審議の結果，承認された場合又は承認されなかった場合は，下記のとおりになります。

審議結果通知（10月下旬～11月上旬を予定）後は，本学ホームページで発表します。

【地域枠募集人員に関する申請が承認された場合の募集人員】

AO 入試	一般枠 22名	計 35名
	地域枠 13名	
一般入試 (前期日程)	65名	

【現在の募集人員】

AO 入試	一般枠 22名	計 25名
	地域枠 3名	
一般入試 (前期日程)	65名	

【地域枠募集人員に関する申請が承認されなかった場合の募集人員】

AO 入試	一般枠 22名	計 35名
	地域枠 13名	
一般入試 (前期日程)	55名	

## 2. 出願資格 ※一般枠と地域枠との併願は認められません。

【地域枠】

上記出願資格に加え，次の要件を満たす者です。

- ・大分県内の小学校又は中学校を卒業し，大学卒業後，大分県の地域医療に貢献したいという強い意志を有する者で，大分県が指定するへき地医療拠点病院で実施する体験活動（8月中の連続する3日間実施）を受けた者

※平成29年（2017年）8月又は平成30年（2018年）8月に本体験活動を受け，「体験活動日誌」

及び「体験活動感想文」を提出済の者については，本体験活動を再度受ける必要はありません。

※本体験活動は，地域枠で出願するためにのみ実施するものです。

## 9. 選抜方法等

### (1) 選抜方法

#### 【第1次選考】

一般枠、地域枠ともに、大学入試センター試験の成績により第1次選考（一般枠、地域枠ともに募集人員の約2.5倍）を行い、第2次選考の対象者を決定します。

※ 第1次選考の結果については、通知書を令和2年（2020年）2月6日（木）に受験者全員へ電子郵便で出願時に登録した現住所へ通知します。当日の18時までに未着の場合は、最寄りの集配郵便局にお問い合わせください。

なお、第1次選考合格者は、第2次選考試験当日に、必ず「大分大学受験票」と「大学入試センター試験受験票」の2種類を忘れずに持参してください。

#### 【第2次選考】

一般枠、地域枠ともに、面接（個人面接及びグループディスカッション）を行い、自己推薦書、調査書、特別活動に関する調査書及び大学入試センター試験の成績を総合的に評価し、合格者を決定します。

なお、同点者がいる場合は、大学入試センター試験の総得点の高得点者、大学入試センター試験の理科の高得点者の順に高順位とします。

### (3) 第2次選考試験期日

試験期日	試験時間	試験科目
令和2年(2020年)2月9日(日)	午前の部：9時00分～	面接（個人面接・グループディスカッション）
	午後の部：13時00分～	

### (6) 地域枠について

地域枠志願者は、次の①～④について承諾した上で、出願前に大分県が指定するへき地医療拠点病院で実施する体験活動（8月中の連続する3日間）を受けていただきます。

※詳細は別添の『令和2年度(2020年度)大分大学医学部医学科アドミッション・オフィス入試(AO入試)へき地医療拠点病院体験活動実施要項』に記載しています。

#### ① 大分県医師修学資金貸与制度

大分大学医学部にAO入試（地域枠）で入学した学生全員に、大分県医師修学資金が貸与されます。

##### (ア) 貸与額

貸与額は、本学の入学料及び授業料に相当する額と修学支援金月額5万円です。

※貸与額は、入学料・授業料改定によって変更することがあります。

##### (イ) 返還の免除

大学卒業後、キャリア形式プログラムの対象となり、同プログラムに基づき大分県知事の指定する医療機関において、貸与を受けた期間の2分の3に相当する期間を医師として勤務した場合、全額返還を免除します。

※詳細は大分県作成の「令和2年度(2020年度)大分県医師修学資金貸与制度のしおり(アドミッション・オフィス入試の地域枠入学生向け)」で確認してください。

《問い合わせ先》

大分県福祉保健部医療政策課地域医療推進班  
〒870-8501 大分市大手町3丁目1番1号  
TEL 097-506-2658 FAX 097-506-1734

② 地域医療研修会

地域枠入学者は、大分県が毎年実施する「地域医療研修会」に参加していただきます。

③ キャリア形成プログラム

地域枠入学者は、卒業後、キャリア形成プログラムの対象となります。

※キャリア形成プログラムとは、平成30年（2018年）7月の医療法の一部改正に伴い規定されたもので、医師不足地域の医師確保と当該地域に派遣される医師のキャリア形成の両立を目的として、卒業後、返還免除のため指定医療機関において勤務する期間（原則貸与期間の2分の3）の就業先や研修先をあらかじめ大まかに定めておくものです。

④ その他

地域枠入学者は、入学後に一般枠への変更はできません。